



Design

～地域包括ケア病棟から地域をデザインする～

発行元：地域包括ケア病棟“彩り”・リハビリ科・地域医療連携室

地域包括ケア病棟広報誌Design号外47号です。老健やましろからのお知らせと、地域の皆様から頂戴している問い合わせの紹介です。（地域医療連携室 室長 南出 弦）

お気軽にお問い合わせください

～ 必要に応じて、老健やましろへの入所も可能です ～

当院の地域包括ケア病棟は、リハビリ目的での入院や介護者の負担軽減のためのレスパイト入院など、地域からの受け入れに力を入れています。また、様々な事情ですぐに自宅に戻るのが難しい場合には、必要に応じ、当院併設の老健やましろへ入所して頂くことも可能です。お気軽にご相談ください。 0774-73-1818（担当：中野・中嶋・松田）

老健やましろより

～ それぞれができることを ～

新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言が全国に拡大されました。当施設でも感染防止のため、3月から面会制限を行ってきましたが、4月からは完全に面会禁止となり、洗濯物の受け渡し等についても1階の受付で職員が対応させていただいております。入所者様、家族様ともに、ご理解はいただいておりますが長期にわたり面会できないストレスは計り知れないものと思います。面会できない間に自分のことが分からなくなってしまうのではないかと心配されている家族様もいらっしゃいます。また、洗濯物の受け渡しの時に渡してほしいと手紙のやり取りをされている方もおられ、大切な家族を心配されている気持ちがひしひしと伝わってきます。

そのような中でも、洗濯物の交換に来られた家族様からは、私たち職員に「大変ですね。お世話様です。よろしく願います。」と温かい言葉をかけていただき、本当に励みになります。私たちも、「〇〇さん、お変わりなくお元気にお過ごしですよ。」と家族様にお声掛けをするようにしています。その一言で家族様の顔もより一層笑顔になり、安心して帰っていただけているようです。

本当に厳しい状況ですが、「面会や外出ができるようになったら、母を自宅に連れて帰りたいです。」と言われた家族様の希望を1日でも早くかなえられる日が来るよう、感染拡大防止のためにそれぞれが意識を持って今出来ることとしていくしかありません。

*



私の母も、この状況の中、仕事で忙しくしている私に気を遣ってくれ、少しでも癒しになればとメールで実家の犬の写真を送ってくれています。私もその日が来たら遠方に住んでいる実家の両親と犬に会いに行きたいと思っています。

（老健やましろ 管理部長 三村 裕子）

様々なお問い合わせを頂戴しています。

～ 一部ご紹介します ～

- 療養型病院へは入院せず、なんとか自宅で介護したいと思われているが、介護者の奥様が疲弊されている。数週間、地域包括ケア病棟で入院できないか。(訪問看護ステーションからの紹介)
⇒4月下旬から5月中旬まで、入院して頂くことになりました。
- 患者さんは療養型病院へ入院する予定であったが、急遽延期となり、困っている。急なことで介護サービスの調整まで少し時間がかかるため、その間地域包括ケア病棟で入院できないか。(在宅のケアマネジャーからの紹介)
⇒4月下旬から介護サービスが整うまで入院して頂くことになりました。
- 親族にご不幸事があり、介護者が不在となる。人工透析をされているため、介護施設で受け入れしてもらえず困っている。(在宅のケアマネジャーからの紹介)
⇒調整し、翌日より受け入れさせて頂きました。

地域医療連携室より

～ Teo Torriatte (let us cling together) ～

普段は何も感じない言葉でも、受け取る側のそのときの気持ちによって心に響くことであると思うのですが、そんなエピソード(言葉)を2つ、紹介したいと思います。

*

① “手を取り合ってこのまま行こう 愛する人よ 静かな宵に 光を灯し 愛しき 教えを抱き”

クイーンの Teo Torriatte (let us cling together) という曲ですが、サビで、「手を取り合ってこのまま行こう 愛する人よ 静かな宵に 光を灯し 愛しき 教えを抱き」と日本語で歌われます。東日本大震災の復興支援のチャリティーCDにも収められていたそうです。音楽を聴きながらランニングをしているのですが、この曲が流れると、歌詞が一層深みを増して私の耳と心に響き、今日も一日頑張ろうと思わせてくれます。今の私にとっては、大切な曲です。

② “映画で歴史は変えられないが、未来を変えることはできる”

先にお亡くなりになられた大林宣彦監督の言葉です。言葉はいろいろな解釈ができると思うのですが、私は、“映画は、観た人の行動に変化をもたらす” というように解釈し、戦争の悲惨さや平和の尊さを映画の中で表現されていた監督の、その言葉が私の心に響きました。先日、中井院長から「(この状況は) 悪いことばかりじゃなくて、チームの結束が強まったり、良いこともあるんや」と教わりましたが、大林監督の言葉と重ね合わせ、今の状況が、私も含めた個々の行動に良い変化をもたらすのではないかと思います。

*

感染拡大防止のため、今は皆様とお会いする機会は減っていますが、お互いが手を取り合いながら、この苦難を乗り越えていけたらと思います。(地域医療連携室 室長 南出 弦)